

# 主日礼拝

2022年04月10日  
午前10時30分

前奏 「あがないの主に」(讃 21:309)  
(P.ヴォルフラム)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「キリストも、あなたがたを神に近づけようとして、  
自らは義なるかたであるのに、不義なる人々のために、  
ひとたび罪のゆえに死なれた。」

(第1ペトロ3:18a)

## 受難節のリタニー

《受難節第6主日》

司式者：私たちは群衆と同じように深く考えないで、  
不正の波にのったことがあります。これからは  
もっと、私たちにものを正しく見る目と、  
判断力を与えてください。

会衆：主よ、私たちがあわれみ導いてください。

司式者：群衆の「ホサナ」は すぐにまた「十字架に  
つけろ」に変わったことを思いつつ、この  
ろうそくを消します。(消火)

## 祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、  
礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 聖書 マルコによる福音書 14:32~42

新約(新共同訳)p92~p93

一同がゲツセマネという所に来ると、イエスは弟子たちに、「わたしが祈っている間、ここに座っていないさい」と言われた。そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく恐れでもだえ始め、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい。」少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈り、こう言われた。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」それから、戻って御覧になると、弟子たちは眠っていたので、ペトロに言われた。「シモン、眠っているのか。わずか一時も目を覚ましていられなかったのか。誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていないさい。心は燃えても、肉体は弱い。」更に、向こうへ行っ、同じ言葉で祈られた。再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠ったのである。彼らは、イエスにどう言えばよいのか、分からなかった。イエスは三度目に戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。もうこれでいい。時が来た。人の子は罪人たちの手に引き渡される。立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

## 賛美 309(1,3,4)「あがないの主に」

Gloria, laus, et honor  
詞：Theodulph d'Orleans, 7-821

VALET WILL ICH DIR GEBEN  
曲：Melchior Teschner, 1584-1635

1-4 あ が ない の 主 に み さ か え あ れ、  
お さ な き 子 ら も「ホ サ ナ」う た わん。  
① ダ ビ デ の す え な る ま こ と の 主 に、  
② し ゅ ろ の 葉 か ざ し て い ざ、 迎 え よ。  
③ わ れ ら の 祈 り を 受 け い れ た も う、  
上 の み 名 に よ り て き た る も の に、  
て ん し ゅ う の 葉 か ざ し て い ざ、 迎 え よ。  
こ え あ わ せ と も に た た え う た わん。  
め ぐ み に み ち た る 主 は お う な り。

- ① あがないの主に み栄えあれ、  
幼き子らも「ホサナ」歌わん。  
ダビデのすえなる まことの主に、  
主のみ名によりて 来たるものに。
- ② あがないの主に み栄えあれ、  
幼き子らも「ホサナ」歌わん。  
しゅろの葉かざして いざ、迎えよ。  
天使らと共に、ほめたたえよ。
- ③ あがないの主に み栄えあれ、  
幼き子らも「ホサナ」歌わん。  
十字架の道を 進みし主を  
声合わせ共に たたえうたわん。
- ④ あがないの主に み栄えあれ、  
幼き子らも「ホサナ」歌わん。  
われらの祈りを 受けいれたもう、  
恵みに満ちたる 主は王なり。

# 説教 「十字架を通して見る」

## 賛美 504(1,3,4) 「主よ、み手もて」

Thy way, not mine, O Lord  
詞：Horatius Bonar, 1808-1889

JEWETT  
曲：Carl Maria F. E. von Weber, 1786-1826

主よ、み手もて ひかせたまえ、  
ただわが主のみちをあゆまん。  
いかにくらく けわしくとも、  
みむねならばわれいとわじ。

- ① 主よ、み手もて ひかせたまえ、  
ただわが主の 道をあゆまん。  
いかに暗く けわしくとも、  
みむねならば われいとわじ。
- ② ちからたのみ 知恵にたよる  
われと道を えらびとらし。  
ゆくてはただ 主のみ旨に  
ゆだねまつり 正しくゆかん。
- ③ 主よ、飲むべき わがさかすき、  
えらびとりて さすけたまえ。  
よろこびをも かなしみを、  
みだしたもう そのまもうけん。
- ④ この世を主に ささげまつり、  
かみのくにと なすためには、  
せめもはじめ 死もほろびも、  
何かはあらん、 主にまかせて。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

### アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「前奏曲 □短調」 (J.S.バッハ)

司式 塩冶 みはる  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。